

## 「令和5年度鹿児島県図書館大会」を開催しました！

県立図書館

### 令和5年度鹿児島県図書館大会 ～新しい時代を支える図書館とは～

本大会は、県下の読書活動や図書館の利活用を推進するために、図書館に関わる県民が一堂に会し、連携を深め、図書館が発揮すべき力について共に考えることを趣旨としています。

#### 期日・場所

令和5年11月15日（水）  
午前9時50分～午後3時45分  
かごしま県民交流センター

#### 参加者数

570人



#### 主な内容

- 1 表彰
- 2 基調提案 **【分科会の様子】**
- 3 分科会
  - 第1分科会（小学校 A）  
読書の楽しさを知る学校図書館  
事例発表……鹿児島市立宮小学校
  - 第2分科会（小学校 B）  
学ぶ意欲を高める学校図書館  
事例発表……鹿児島市立名山小学校
  - 第3分科会（中学校）  
学びを広げ、深める学校図書館  
事例発表……霧島市立横川中学校
  - 第4分科会（高等学校）  
学ぶ・働く・生きる力を育む学校図書館  
事例発表……県立松陽高等学校
  - 第5分科会（子供の読書）  
豊かな心を育む読書活動  
事例発表……○学校法人武町学園 武町幼稚園  
○串木野小学校読み聞かせグループ「花さき山」
  - 第6分科会（公共図書館）  
ニーズに寄り添う公共図書館  
事例発表……○枕崎市立図書館  
○県立図書館

#### 4 講演

演題 「AI社会、ポスト・コロナ社会に  
生きる図書館の役割」

講師 大正大学 教授 稲井 達也 氏

AI社会やポスト・コロナ社会など、どんなに新しい時代になっても、図書館には「ひと」が大切であること、そして、特にこれからは社会的包摂の観点から図書館の意義を捉え、実現する必要があることなど、図書館の役割について御教示いただきました。



本を通して人がつながるコモンス的な役割、AI社会に必要なリテラシーを養う場、全員が社会参加できる場など、これからの図書館の役割について学ぶ機会になりました。

#### 参加者の感想（一部）

- 図書館が情報センターの役割を担っていることについて、教職員に周知することの大切さを痛感しました。
- 図書館運営や読書指導等、他校の実践や講演で学んだことを明日からの業務に生かしたいです。
- 「人と人とのつながりが大切」、「小さなことからやってみる」などが特に大切だと思いました。

本大会は、平成17年度から学校図書館協議会と県図書館協会とで共催して開催しています。今年度は、「新しい時代を支える図書館」というサブテーマのもと、読書活動や図書館運営に携わる多くの方々に参加していただきました。意義や役割など、改めて、「図書館」について考える機会となりました。